

表紙：クラフト“こいのぼり”

高槻校では毎年、「こいのぼりフェスタ 1000」に参加しています。
みんなで手形をベタベタ、色をぬりぬり、とってもカラフルなこいのぼりが
出来上がりました！大空を舞う約 1000 匹からキンダーキッズの
こいのぼりを見つけて子どもたちも大歓声を送っていましたよ。
みんな、こいのぼりのように大きく元気になろうね！



いろんなアイデアを
お待ちしております！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております！

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2019年6月発行 Vol.3

次回7月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

〒530-0033 大阪市北区池田町 3-1

ぶらら天満ビル 2F

www.kinderkids.com

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

3



これからの「生きる力」を育む “アクティブラーニング”

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.



これからの「生きる力」を育む、アクティブラーニング

2020年 教育の何が変わる？

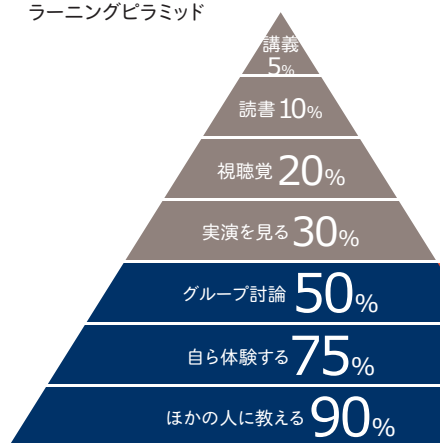
いよいよ来年からスタートする2020年教育改革。英語の教科化やプログラミング教育の必修化など耳にしたことのある方も多いのではないのでしょうか？ 文部科学省による今回の改革の大きな目的は、変化が激しく予測不能な未来を生き抜くための土台となる「人間力=生きる力」を育むこと。そして学習内容だけではなく「学び方」から変わると言われています。これまで一方通行・知識詰め込み型の授業中心でしたが、これからはチームで取り組む課題も増えてくるので、知識量や記憶力だけではなく、自分の考えを表現する力や仲間と協力する力が求められるようになります。そして今回の教育改革の目玉とも言えるのがアクティブラーニング(以下AL)です。



興味を持って学び 発信することで10倍身につく！

ALとは、生徒が問題について自分で調べたり、話し合ったりすることで、「考える力」を育てるという学習方法です。従来式の受け身の授業では、与えられた情報以外に自分で学ぼうとしない、さらには学び方が分からないという例も多々見られましたが、自らが主体となって授業に関わることで学ぶことの楽しさを知り、学校の中だけではなく、生涯にわたってアクティブに学び続ける力を育ててほしいという狙いもあります。

ラーニングピラミッド



アクティブ
ラーニング



平均学習定着率が
なんと
「講義」より
10倍高い！

It's Soft!



プリクラス
センサリー(感覚)遊び

スライムや小麦粉粘土などを使い、見て、触って、匂いを嗅いで自分で体験することで五感を育てています。さらに感じたことを言葉にすることで脳の活性化と英語の語彙力向上にもつながっています。

「学ぶことは楽しい！」 という気持ちを育てる 体験学習

ここ最近になって大きな注目を集めているAL。キンダーキッズでは、その可能性にいち早く着目しカリキュラムに取り入れてきました。

より体験を
通じた学びが
深まっています



キンダークラス

環境について考える学習では、まず地球の資源を守るために自分たちに何ができるかを話し合います。そして再利用できる資源を自宅から持ち寄り、みんなで分類し回収所へ持っていくことで、子どもたちの環境に対する意識がグッと高まるのです。

I sorted
the garbage!

キンダーキッズでは一過性ではなく長期にわたり興味を持ち、学びに向かう意欲を育てることで「生きる力」へとつなげています。



Feature
Story



Interview

Osaka

School

大阪本校マネージャー 坂本 陽子



Staff Spotlight



Interview

Ashiya

School

芦屋校マネージャー 加門 直子



大 阪本校はキンダーキッズの中で生徒数が一番多いこともあり、とてもにぎやかな園です。そして多種多様な価値観や文化背景を持つ先生や子どもたちが一緒に学び合えるところが良いところであり、保育の中でも「多様性」を大切にしています。みんな同じでなくていい、お互いの違いを尊重し認め合おうという環境なので、自己肯定感の高い子どもが多いように感じます。最初は人見知りだった子ども、気づいたら社交的になっていたということも珍しいことではないですし、卒園生が通う小学校の先生から、転校生が来た時に一番先に声をかけて気遣ってくれたのがキンダー出身の子だったという話を聞いてとても嬉しかったです。

また、大阪本校では卒園生の近況などを耳にすることが多く、卒園しても繋がっているという感覚が強くあります。卒園生や在園生の保護者の方たちもとても協力的な方が多いので皆さまの力を借りて気軽に子育て相談できるような場を作っていけたらと考えています。これからも子育て中の方たちに寄り添いサポートできるような園でありたいです。

芦 屋校は先生もスタッフもみんな愛情深くとても熱心です。どんな時も大きな心で子どもたち一人ひとりと真剣に向き合っていますし、園自体が大きな家族のような感じなので、子ども同士の絆も強く、年齢関係なく仲がよいです。ある団体行動の時に泣いてしまった子がいたのですが、クラスのお友達がその子に話しかけたり、次の行動を促したり、とても自然にフォローしてくれたことがありました。先生が何も言わなくても子どもたちが自分たちで考え行動したことに、大人の私たちがとても感動しましたし、困っている人がいたら自然と手を差し伸べている姿は日々の保育の中でもよく目にします。転園生が来た時や、サマースクールなどで来る外部の子どもたちにも芦屋校の子どもたちはみんな積極的に

話しかけるので人見知りしている暇もないくらいです。このように芦屋校の子どもたちはみんなとても優しくとてもオープンです。卒園して終わりではなく、いつでも帰ってこられるホームのような存在でありたいと思っています。

HP



Facebook



大阪府大阪市北区錦町4-33

HP



Facebook



兵庫県芦屋市楠町11-24



新幹線の
運転手!
かっこいいから!

アイス
クリーム屋さん!
アイスクリームが
好きだから!

Teacher!
じぶんの先生が好きだから!

消防士!
かっこいいから!

DA PUMP!
Issaがクール!

警察官!
わるい人を捕まえる
ところがかっこいい!

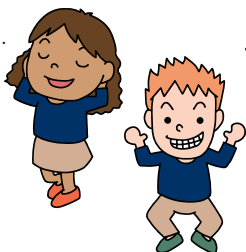
警察官!

美容師さん!
みんなのことを
かわいくできるから!

大阪本校と芦屋校の
**キッズに
聞いてみました!**

大きくなったら何になりたい?

Want to be...



ラーメン屋さん!
ラーメンが好きだから!

お姫さま!
ラブンツェル!

お医者さん!

Live until 100 years old!





Interview

英語とわたしの ミライ

1

キンダーキッズ大阪本校 4 期生の N.O. さん。
春休みに参加したカナダ校でのボランティア活動やご自身の幼少期の
思い出についてお話を伺いました。

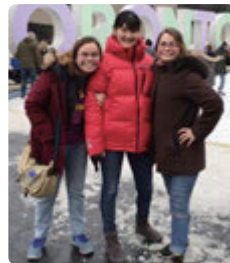
将来は国際平和にかかわる
仕事に就きたい

今回、カナダ校で約 3 週間ボランティアに参加しました。もともと私自身がキンダーキッズにとってもいい思い出があって、何か関わることがないかと考えていた時に友達のお母さんからカナダ校の話聞きすぐに連絡を取りました。スクールでは私のホストマザーが担当するバイビークラスで赤ちゃんのお世話をしたり、キンダークラスの子どもたちと一緒にジムで遊んだり、アクティビティでジャーナルを教えてあげたり、とても充実した毎日でした。

キンダーキッズで一番印象に残っているのはクリスマスコンサートです。小さい頃から目立つことが好きだったのと、英語を使って劇ができるというのがとても嬉しくて、3 年間セリフの多い役ばかりを好み演じていました。あと遠足で色々なところに行ったこともよく覚えています。

卒園後もサタデークラス(現 Grad Club)や、サマーキャンプに参加するなど、英語の勉強はずっと続けていました。英語は世界共通言語なので、様々な人とつながって自分の経験を豊かにできるところが良い所であり、キンダーキッズに通っていたから英語が自分の強みとなり、世界が広がったと感じています。また中学校でネイティブの先生と国際問題について話す中で、マハラ・ユスフザイさんのことを知り、児童労働に興味を持ったことが大きな転機となりました。そして高校 1 年生の時に市内で行われたスピーチコンテストで児童労働について発表し最優秀賞をいただくことができました。

春から大学生になりましたが、今は発展途上国の子どもたちに教育の大切さを伝えていく仕事に興味があります。まずは大学で国連のボランティアに参加し、将来的にも国際平和にかかわる仕事に就きたいです。



Overseas School Report

日本の幼児教育プラットフォームを世界に広げたスクール

カナダ校ディレクター Stephanie Winter



キンダーキッズの海外スクール第 1 号校のカナダ校が、今年で開校 5 年目を迎えました。

おかげさまで地域の皆さまに認められ、今では数百名以上のキャンセル待ちが出るほどの人気校になりました。この成功がハワイ校、シンガポール校へとつながったことを誇りに思います。

カナダ校では年間を通じてさまざまなイベントがあり、ハロウィンやスポーツフェスティバルに加え、Canada Day のお祭りや、6 月にはサマーコンサート(日本ではクリスマスコンサート)が開催されます。スポーツフェスティバルでは日本のスクールと同様、年長クラスが組み体操を披露し、毎年大きな感動が生まれています。

私たちは、毎年日本から子どもたちがトランスファーシステムを利用して当校に来てくれることを本当にうれしく思っています。世界共通のカリキュラムで学び、他国のお友達と楽しい時間を過ごす中で異文化を吸収できるのは、キンダーキッズならではの画期的なサービスです。カナダにつづき、ハワイ、シンガポールでの開校により、世界中にキンダーキッズのネットワークがどんどん広がっていくでしょう。

これからも、一人でも多くの子どもたちが楽しく安全に海外のスクールを歩き来できるような保育・教育環境を提供し続けて参ります。



音楽クラス、組み体操など日本式の保育システムを取り入れた
早期教育も人気のひとつ

